

建築史（A 専門科目）

=====

科目名：

建築史（英文科目名：History of Architecture）

2 単位 建築学科 4 年 通年 講義

担当教官：

高橋大輔（居室：建築学科棟 2 階）Email:daisuke@oyama-ct.ac.jp

授業目的：

日本建築および西洋建築の形成・発展過程をとらえ、各時代の様式あるいは意匠的・技術的特徴を理解する。

達成目標：

日本・西洋における様々な有名建築物の特徴を学びながら、建築設計におけるレファレンス的な知識の修得を目指す。

教科書：

藤岡通夫ほか「建築史」市ヶ谷出版

参考書：

建築作品集、建築雑誌、建築評論書

学習方法：

予習-毎回、次週の講義におけるキーワードを提示していくので、それらに関連する事項を調べる。

授業-スライドとそれらに関連する事項の説明が中心となる。

復習-講義内で出てきた建築物と同じ年代に発生したものを調べると、さらに理解が深まる。

学習保証時間：

100 分[時間 / 週] × 30 [週 / 前期] = 50.0 時間 / 年

キーワード：

西洋建築、日本建築、建築意匠

授業内容：

1．古代エジプト建築と古代メソポタミア建築・・・・・・・・・・ 2 週

2．古代ギリシャ建築と古代ローマ建築・・・・・・・・・・ 3 週

3．ビザンチン建築とイスラム建築・・・・・・・・・・ 2 週

前期中間試験

4．ロマネスク建築とゴシック建築・・・・・・・・・・ 3 週

5．ルネッサンス建築とバロック建築・・・・・・・・・・ 3 週

6．18、19 世紀の建築・・・・・・・・・・ 2 週

前期末試験

7．日本建築のあけぼのと古代の神社建築・・・・・・・・・・ 2 週

8．仏教建築の導入と普及、その影響・・・・・・・・・・ 3 週

9．貴族住宅（寝殿造）と武家住宅（集電主殿造）・・・・・・・・ 2 週

後期中間試験

10．新様式（大仏様・禅宗様）の導入と普及・・・・・・・・・・ 2 週

11．数寄屋造と書院造・・・・・・・・・・ 3 週

- 12．城郭と霊廟・・・・・・・・・・・・・・・・・・2 週
13．民家と町並み・・・・・・・・・・・・・・・・・・1 週

学年末試験

授業方法：

教科書とスライドを併用しながら行う。

カリキュラム中の位置づけ：

西洋や日本建築の発生過程について学ぶと共に、その時代の社会的背景や文化も併せて学習し、過去の名建築を知ることによって建築設計におけるツールの一つとなるような考え方を学ぶものである。

この科目を学ぶために先行して理解する必要のある科目

建築設計、建築計画、造形意匠

この科目と同時に学ぶ関連科目

建築設計、建築計画

この科目の後に学ぶ関連科目

現代建築論、建築計画演習、建築計画特論、卒業設計

評価方法：

試験の成績と出席状況によって行う。ただし、欠席、遅刻、居眠り、私語等は点数を減じる。

連絡事項：

学生へのメッセージ：

授業はスライドを併用して行う。できるだけ多くの建物を知ってもらうためであるが、授業以外でも過去の名建築に関心を持ってほしい。

=====